



# 品質管理

～世界同一最高品質の実現～

世界30カ国以上のグローバル生産体制の中、世界同一最高品質の実現に向け、  
全社共通の品質管理活動の向上に挑戦していきます。



Sumitomo Electric Wiring Systems  
(Europe) Ltd. (SEWS-E) [英国]  
本品質部 品質改善マネジャー  
ポール フィーリー

## 世界中で、常に最高の品質を 提供し続けたい

「世界共通の品質改善」を進めるうえで大切なのは、住友電装グループ全体での品質改善方針の年度ごとの見直しです。私はSEWS-Eにおいて、SWS WAYの着実な実践を基本に、日々品質改善に取り組んでいますが、戦略の策定や追加措置などは「全社品質方針」に基づいています。実際、2016年度の「全社品質方針」で示された「3つの管理」等の品質改善重点施策は強力に効果を発揮し、当社のクレーム指数は対前年度比で改善しています。当社にとって品質プラットフォームの改善は、お客さまの期待に応えるための最優先課題であり、引き続き注力すべき重点活動だと認識しています。

今後も住友電装グループの目標達成に向け、まい進していきます。

### 全社品質方針

#### 2016年度 「ゼロ化体質」を構築し、17VISIONクレームゼロを達成しよう！

- ① お客様満足度No.1 品質の追求
- ② 不良を造らない図面造り、工程造り、仕組み造り
- ③ 先手管理と気付きのできる現場力の強化

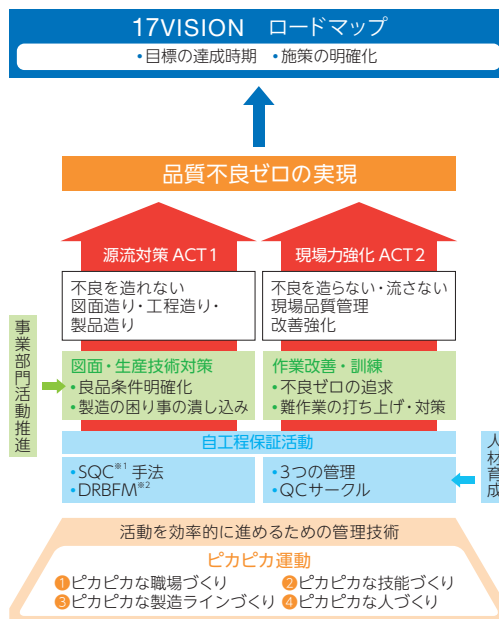
#### 》自工程保証活動

住友電装グループでは、品質不良ゼロの実現に向けて品質改善重点施策を展開し、その基盤となる自工程保証活動を推進しています。設計部門では、不良未然防止のため、その発生要素を取り除いた図面造りをしています。生産技術部門では、不良を造れない工程造りと不良の確実な発見により、次工程に流さない設備・工程造りを進めています。製造部門では、変化点があっても不良を発生させない方法で徹底的にやりぬくことを実践しています。

#### ● 3つの管理

本活動では、不良の発生防止に向けて「3つの管理」：変化点管理、異常管理、作業遵守管理を現場で徹底しています。新製品や急増産などの大きなイベントや人、設備、材料などに起因するものを変化点と捉え、これらの事前把握に努めています。また、設備や材料品質異常、停電など、不具合につながるものを異常と定義し、管理しています。作業遵守では、重要な作業手順を選定し、毎日1工程1人を集中して管理しています。この「3つの管理」を見える化し、現場全員で問題を共有することで、より高度な管理を実現させています。

#### 》品質改善重点施策の推進



\* 1 SQC : Statistical Quality Controlの略。統計的品質管理  
\* 2 DRBFM : Design Review Based on Failure Modesの略。  
失敗経験に基づき問題を未然に防止すること

## ●お客さま満足度の追求

2016年度は、目標は未達でしたが、前年度比では改善しました。住友電装グループは、これからもクレーム件数ゼロの達成に努めてまいります。

## 》お客さまからの評価

当社グループでは、常に高い品質を求め、お客さまの信頼に応える製品の提供に努めてきました。その結果、世界中のお客さまから高い評価をいただいております。2016年度には、10カ国で47件もの表彰を受けました。私たちは今後も、お客さまの信頼に応える製品の提供を追求し続けていきます。

## 》海外生産拠点における現場実践型品質改善教育

当社グループの主力製品であるワイヤーハーネスは全体の97%と、ほとんどが海外生産です。そこで全社品質部門として「17Vクレームゼロ」、「世界同一最高品質の実現」に向け、海外製造拠点における現場実践型品質改善活動に注力しています。具体的には、当社主導で現地製造・品質保証リーダーを対象に、工程内の慢性不具合ゼロを目標とし、まず現地現物での要因解析を主とした品質改善教育を実施します。その後、各人がトレーナーとなって行う、自主改善活動をフォローすることで、目標達成や改善手法現地展開を通じた品質向上をめざす取り組みです。現在欧州地区（モロッコ、ルーマニア、エジプト）で計25名に対して実施し、現地品質向上の土台作りや品質改善活動拡大につながっています。

本活動は、2014年度から開始され、欧州地区のモロッコ、ルーマニアを中心に取り組んでおり、2016年度はエジプトにて行いました。当初は、教育方法、資料内容、フォローアップなどで手探りの部分もありましたが、改善を積み重ねることで、現在はグローバル拡大の礎が確立しつつあります。

今後も本活動について検討を重ね、この取り組みをシステム化し、欧州の他、米州、中国、アセアンへグローバル展開を図っていきます。

## 》世界同一最高品質の実現に向けたピカピカ運動

商品力No.1、世界同一最高品質をめざして、住友電装では社員にとってわかりやすいピカピカ運動を推進しています。ピカピカ運動は、PK評価、G-STARS、人づくり、それらにささえられた不良ゼロを目指す品質改善（HAI-Q）の4つの要素によって構成されています。

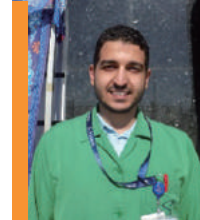
PK評価は、グローバル全工場（約111工場）に毎期、それぞれ約3日間かけて本社PK評価担当者が訪問実施する評価の仕組みであり、2002年度から毎年度実施しています。担当者約30名が全工場を1～3人で1チームとなり、全体で約950人日かけて評価しています。弱点分野を明確化することで各工場の改善を加速させる効果があります。2015年度より従来の総合得点評価から安全（S）、品質（Q）、生産性（P）の各分野で完成度を評価する仕組みに改善しました。また、年に一度、技能向上への意欲を高めることなどを目的として全世界から高技能者があつまり、部門別に技能五輪を開催しています。



技能五輪 ワイヤーハーネス部門出場者

## 》2016年度表彰事例

Sumitomo Electric Wiring Systems (Europe) Ltd. (SEWS-E) [英国] がホンダから品質賞を受賞



### Voice 研修で学んだことを活かし、不良品ゼロをめざす

SE Wiring Systems Egypt S.A.E (SEWS-Eg) [エジプト]  
ポートサイド工場  
品質保証部 検査リーダー

#### マハムド エルモガゼイ

品質検査リーダーとしての私の仕事は、切圧検査の管理と支援です。日々検査業務に携わっていたので、品質改善には以前から関心を寄せていました。そのため、今回学ぶ機会を与えていただき大変うれしく思っています。

研修では、品質問題に対するアプローチや、QC7ツール、5Why分析などの論理的手法を用いた解決方法を学びました。このトレーニングで学んだことを同僚に伝え、QCサークル活動を実践することで、品質問題を排除し、不良品ゼロを達成したいと考えています。トレーニングでご支援いただいた住友電装の皆さまと、このような機会を与えていただいたことに感謝しています。

## 》ピカピカ運動<sup>※1</sup>の基本的な考え方

商品力 No.1 世界同一最高品質

ピカピカのモノづくり (ピカピカ製品の供給)



※1 心・行動・技能・設備・工場のピカピカが、ピカピカな製品を生み出す

※2 HAI-Q: Harness Innovation Quality

※3 G-STARS: Global Skill Training and Recognition System

## 》技能五輪



### ◀電線部門:優勝(SWS-Suzuka)

第10回を数える大会で史上初の3連覇をチーム一丸となって達成できました。日々の作業改善・スキル向上を今後も継続して推進し、次回大会でも団体優勝を達成できるよう頑張ります。

### ●電線部門



### ●ワイヤーハーネス部門



### ●部品部門



### ●電子部門

